

社協×生協×地域支援団体 ～「買い物ツアー」で孤独・孤立予防～

I. めざしていること

II. 連携事例

2025年11月25日
生活協同組合コープこうべ
地域活動推進部 足立 大

コープのあるまち 協同のあるくらし ～やさしさつむいで ^{あした}笑顔で未来へ～

＼ 3つの柱 /

「ありたい未来(まち くらし)」に
向かうコープこうべの役割

2023年、ありたい未来の実現に向かうための
道しるべとなる「中期経営計画」をスタート。
この中で、コープこうべの役割として
「3つの柱」を掲げ、取り組んでいます。

1

お買い物を通じた
くらしの
安心づくりを
すすめます

2

いきいきとした
くらし、地域の
つながりづくりを
すすめます

3

環境や社会の
ためになる活動・
事業モデルを
促進します



I. めざしていること

連携の力で

買物困難

孤独・孤立

貧困・格差

協働宅配の仕組みづくり

居住支援・困窮者支援の
ネットワークづくり

コミュニティの活性化・担い手づくり
(ふれあいひろば・つどい場)

入口

地域支援団体との話し合い

II. 連携事例

地域買いもん行こカー

豊岡市社協さんと協働



手を取り合って、地域課題に取り組む

II. 連携事例

地域買いもん行こカー



買い物に困っている人
見守りを必要としている人
の役に立ちたい！



豊岡市社会福祉協議会

福祉車両の無償貸し出し



買い物に行きたいけど車がない
(免許も返上したし…)



利用者
(お買い物に困る高齢者)



近隣に店舗がなく、移動手段となるバスの減便などで、買い物に不便を感じている高齢者などを対象に、月に1回以上お住まいの地域からコープデイズ豊岡まで無料で送迎する取り組みです。社協が所有する福祉車両を使用し、高齢者を朝施設へ送り届けた後、夕方お迎えに行くまでの空き時間を活用して運行しています。

Ⅱ. 連携事例

地域買いもん行こカー



社協さん

「社協の役割は、いろんな方が協力しあい、取り組みを広げていくことを一緒にサポートすること」

「地域によっては市内の病院に行くにも、往復でタクシー代が1万円かかる場所もあります。交通課題は大きくなっている」

「『家からバス停が遠いから、行きは何とかなっても帰りは時間が合わないし、荷物が負担』『買い物に困るから免許が返納できない』こうした声を地域で聞いていました」

「『福祉車両を活用できないか？』といった意見。地域の移動や交通課題解決のためにうまくマッチングできないだろうか…」



店長

「店舗で、「買いもん行こカー（無料買物送迎車）」を走らせてています。しかし、店舗から遠い地域はお断りしていました…（採算が…）」

「『私たちの地域にも来て欲しい』という声は年々増えています」

「買い物に困っている人が居ると分かっていてもなかなか行けない。もどかしい思いをしていました」

「コミュニティの方から『お買い物のツアーがしたいなあ』という意見を聞いていました」

Ⅱ. 連携事例

地域買いもん行こカー

中竹野地区コミュニティ × コープこうべ × 豊岡市社会福祉協議会 協同事業 [地域買いもん行こカー]

なかコミ買い物ツアー



豊岡市社会福祉協議会の
福祉車両を使って
中竹野地区的皆さんで
楽しくコープデイズ豊岡で
買い物をしましょう♪



中竹野地区コミュニティくらし部会

日 時：2月19日(月) 送迎は無料で
9:30～15:00頃 させていただきます！

対象者：中竹野地区で買い物を希望される方
(買い物にお困りの一人暮らし高齢者など)

定 員：7名

行 程：9時30分～ 順次自宅までお迎え
10時30分頃 コープデイズ豊岡に到着
コープデイズ豊岡及び敷地内店舗にてお買い物
(買い物後、敷地内店舗で昼食を計画しています)

お願ひ：参加者様には「氏名」「住所」「連絡先」を頂戴します。
なお情報は本事業でのみ使用させていただきます。

申込先：中竹野地区コミュニティまでご連絡ください。
☎47-0503 ※〆切2月12日(月)



ご近所さんが一緒に参加



←マグネットステッカー

Ⅱ. 連携事例

地域買いもん行こカー



コープデイズ豊岡



店内コミュニケーションスペースで交流・ひとやすみ



みんなで楽しくおしゃべりしながらお買い物
買物支援ボランティアのお手伝いも

Ⅱ. 連携事例

地域買いもん行こカー



支援者

「一人暮らしの高齢者の参加者にとって外出は、気分転換、歩行を行う機会になる」

「集落内でも交流のない人同士がおしゃべりをしていて良かった」

「回を重ねるごとに元気になっていく独居のおじいちゃん。話すこと、外出することが健康にとっていかに大切なことか痛感」

「買い物は、生活や生きることに直結する行動。自分が選んで買い物をする意欲や生活の楽しみを諦めて生きているような人を家から連れ出せる一つのきっかけになる取り組み」



利用者

「コープになかなか来る機会がないから、衣料品を楽しく見られて嬉しい」

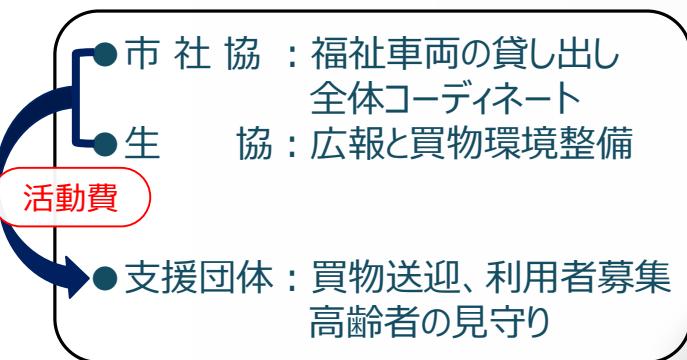
「なれない店舗だから、どこに何を置いているのか分からないけど、サポートしてくれる人が一緒にいるから安心して行けるわ」

「家族ではないからこそ気を遣わずに買い物ができた…」

(なかなか外に出なかった方)

「外に出る楽しみを思い出しました。また連れて行ってね」

II. 連携事例



多自然エリアの 買物送迎の仕組み

協働プロジェクト

協働で実現

- 買物困難エリアのくらしの不安の解消
- 孤立高齢者の見守り
- 地域支援ネットワーク強化

コープこうべ

〈願い〉

- ・孤立高齢者の見守り
- ・コミュニティの活性化
- ・担い手の活躍の場の維持
- ・所有する福祉車両の利活用促進



〈願い〉

- ・高齢者の見守り（コミュニケーション）
- ・中山間地の買い物支援
(買い物行こカー運行難航エリアへの対応)
- ・地域コミュニティの維持

地域の課題

買い物困難

高齢者の孤立・健康維持

コミュニティ希薄化

I. めざしていること

連携の力で

地域での取り組み【2024年度の状況】

買い物行こカー
高齢の方や歩き中の方など、車の無い場所に停りの方を対象に、車と店舗の間で無駄なく運送するサービス。
現在32台、37店舗で運行しています。

移動店舗
買い物の不便な地域へ定期的に専用の車両で商品供給を行う移動店舗。
現在10台、515カ所で運行しています。

まいくる
簡単パンツに記載したタグを利用。
現在1日あたり9887食の利用があります。

買い物支援ボランティア
一緒に、高齢者を探したり、商品の説明を手伝ったり、
高齢者の買い物をサポートするボランティア。
現在、7店舗で運営しており、うち、
5店舗は買い物行こカーの運行日に
合わせて活動しています。

つながるマルシェ
福祉会場にて、店舗のスペースを提供し販売会を開催。
高齢のある方の癒しの場が広がっています。
2024年度は41店舗で開催されました。

地域つながるミーティング
同じ地域で活動する地域の団体・個人、
コープサークル、コープ支店、団体などが出会い、交流し、地域の課題や
多様なテーマによって協議に向け話し合われています。
2024年度は3441人(15地域の方1089人)が参加しました。

健康づくり
県民生徒選や医療生徒など、
地域の面接会と連携し、健康づくりに向けた
取り組みの実施を行なう「健康チャレンジ」。
2024年度はコープから
約900人が参加しました。

地域コープ委員会
「学んで、育て、つながって」を
キーワードに活動。
活動を通じて、よりよい暮らしや地域の
実現を目指す。2024年度は
139委員会(331人)の実績が
実現しています。

コープサークル
「興味や情熱のあることをはじめてみたい」「
自分の生きることをしてみたい」「
仲間といいよに話したい」「
そんな思いでカクテにする場です。
2024年度は1072サークル(9736人)
が登録し、活動をしました。

「copeのあるまち 協同のあるくらし」

地域への食支援
地域で使い切れない野菜を贈り合たり、
まとめてワードドライブ等で地域内に
運搬するフードドライブの取り組み。
2024年度は49.3tを譲りました。
また、店舗・宅配からも20.4tを提供。
355の地域団体に提供しました。

コミュニティ食堂 子ども食堂
(コミュニティ食堂)(「子ども食堂」)は、
地域における「地域・見守・商店」と
なっています。コープサークルが運営する
(コミュニティ食堂)(「子ども食堂」)は、
現在48箇所に広がっています。

お米を贈ろう 助け合い募金
くらしの不安を少しでも和らげたいと想い
募金を実施。2024年度は約458万円の募金が
寄せられました。寄付した募金でお米を調達。
子ども食堂や団体等に提供しています。

ふれあい喫茶 子育てひろば
コープサークルが運営する「子育てひろば」の
取り組み。「ふれあい喫茶」は現在84カ所、
「子育てひろば」は8カ所に
広がっています。

コープこうべの奨学金 「てとて」
高専校に通う高専生などに、月額1万円の
奨学金を年間まで交付する制度。2024年度の募集額は
約679万円。これまでに326人の高校生
(卒業生含む)に給付しました。

**コープくらしの
助け合いの会(共済内)
助け合い制度
コープむつみ会(大阪北地区)**
協同互助の精神に基づいて
事業支援などを実行する、組合員の
事業者などで構成する。2024年度は
約2763人が活動し、
約3634人が利用しました。

たすけタッチ
「出っ張りなど、ちょっとした困りごとを
コープこくべアプリを使って、
ご近所仲間で解決する取り組み。
手相手して新しい組合員と
手話を組合員がつながって
実現された取組物です。
2024年度までで
6638件になりました。

トライヤー・ウイーク
中学生の職場体験として
2024年度は135組373人を
受け入れました。

QRコード
地域に活動した
取り組みや活動で
紹介しています。

ターゲット 2030

コープのあるまち 協同のあるくらし

～やさしさつむいで 笑顔で未来へ～

地域との
協働プロジェクト

「助け合い・支え合い」がたくさんあるまち

コープこうべ活動エリア

兵庫県全域、

京都府京丹後市、

大阪府北部(豊中市・箕面市・池田市・吹田市・茨木市・高槻市・摂津市
・能勢町・豊能町・島本町・大阪市淀川3区)

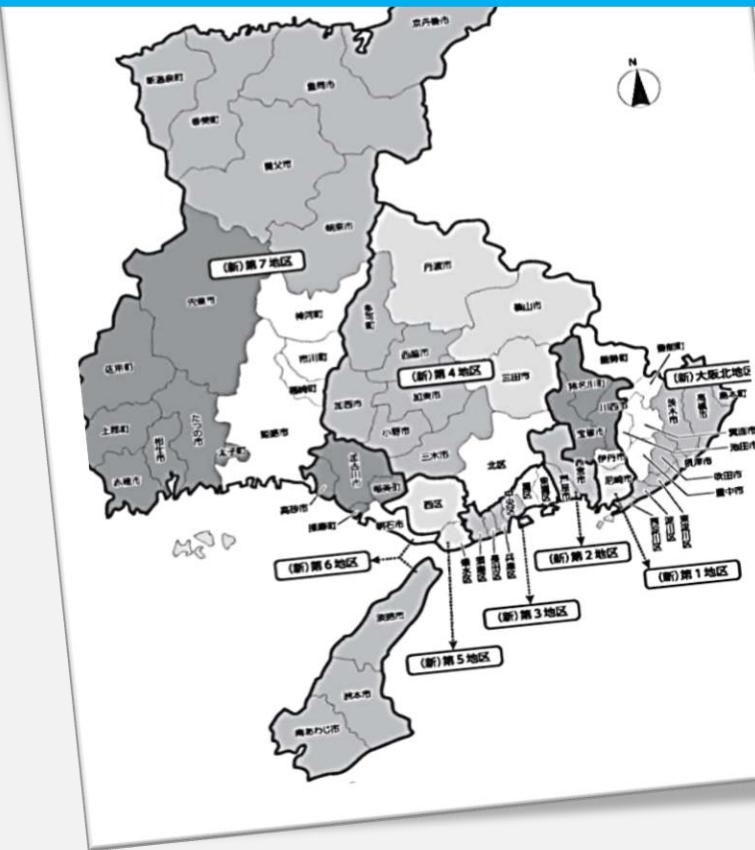
組合員数…170.9万世帯 (組織率47.4%)

(個人宅配・協同購入…約48万2千世帯)

供給高…2,458億円 (2024年度)

出資金…357.4億円

事業所…住吉事務所 地区本部8 店舗132 協同購入センター22 商品検査センター
リサイクルセンター 協同学苑 物流センター8
共済センター クレリ案内センター 地域包括支援 サービス付高齢者向け住宅
通所介護 生活文化センター 他



動画一覧



QRコード®を
読み取って
1分動画を
チェック!



福祉車両を活用し
高齢者などを店舗に送迎
地域買いもん行こカー

住居取得が困難な方々に住まいを提供
六甲ウイメンズハウス

西宮市北部につどい場を設置
つどい場ばんぶー

障がいのある方が安心して働き
活躍できる場づくり
協働による「めーむひろば」

地域の仲間がつながり
みんなの力で住みよいまちへ
地域つながるミーティング

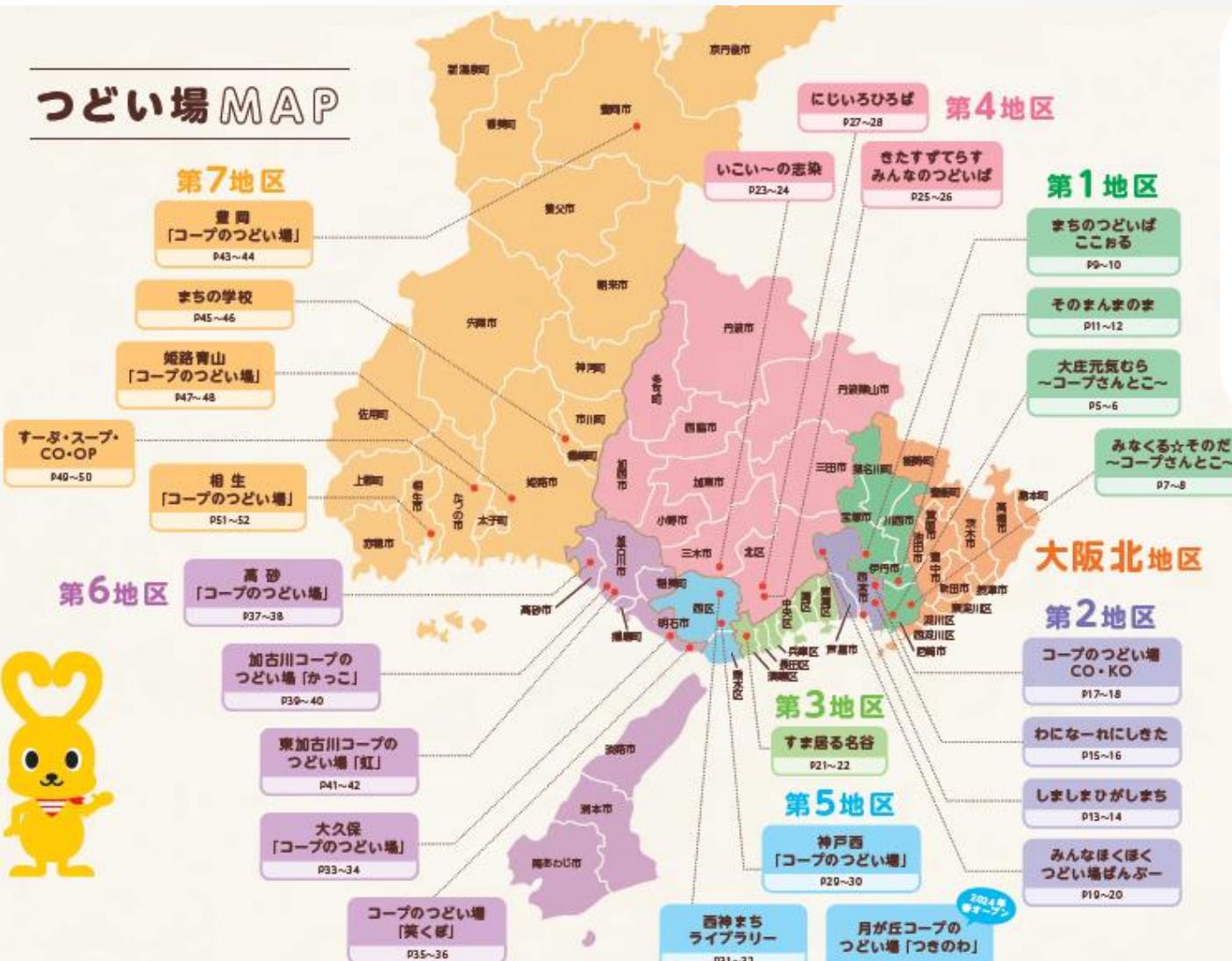
尼崎市営住宅を活用した
居住支援団体等のネットワークづくり
REHUL(リーフル)

組合員同士でちょっとお手伝い
買い物支援ボランティア



コープのつどい場

つどい場 MAP



2024年度新たに10カ所（計34カ所）



つどい場サイト

見てね

